

冬はノロウイルス感染にご注意！

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。

ノロウイルスは手指や食品などを介して、主に経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、嘔吐、下痢、腹痛などを起こします。**感染力が強く、少量のウイルスでも発症します。**

症状

主な症状は吐き気・嘔吐・下痢・腹痛・発熱(微熱が1～2日続く)など。
感染しても症状がない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。

感染経路



食品からの感染

感染した人が調理などをして汚染された食品
ウイルスが蓄積した、過熱不十分な二枚貝など

人からの感染

ノロウイルスに感染した人の糞便や嘔吐物からの二次感染
家庭や施設内などで人から人への飛沫などによる感染

便1gの中に
ウイルス1億個！

予防方法

手洗い

- 洗うタイミング
 - ・ 外出後、トイレに行った後
 - ・ 調理や食事の前
 - ・ 糞便・嘔吐物を処理した後
- 汚れの残りやすいところを丁寧に
 - ・ 指先、指の間、爪の間、親指の周り、手首、手の甲
- 液体石鹸を使用し、しっかりと水で洗い流す
 - ・ 2回洗うとより予防効果が期待できる。

嘔吐物などの処理

- 二次感染を防止
ノロウイルスは乾燥すると空中に漂い、口に入って感染する事があります。
 - ・ **使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用する。**
 - ・ ペーパータオル等で静かに拭き取る→水拭き→塩素消毒→さらに水拭きをする。
 - ・ 拭き取った嘔吐物や手袋などは密閉して廃棄する。その際できればビニール袋の中で塩素系消毒剤や家庭用漂白剤に浸す。
 - ・ しぶきなどを吸い込まないようにし、終了後は手洗いをする。



家庭用(6%濃度の消毒液)なら
水 3L
液の量 50ml

治療

現在、このウイルスに効果のある抗ウイルス薬はありません。このため、通常対症療法が行われます。脱水症状を起こしたり、体力を消耗しないように、水分と栄養の補給を十分に行いましょう。

※ 脱水症状がひどい場合には病院で輸液を行うなどの治療が必要になります。

※ 止瀉薬(いわゆる下痢止め薬)は、病気の回復を遅らせることがあるので使用しないことが望ましいでしょう。

＊学生寮など集団生活をしている方は特にご注意ください！＊

ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎と診断された場合、下記へご連絡ください。

【感染症と診断された場合の連絡・相談・問い合わせ先】
和光大学 医務室(G棟1階)
TEL:044-989-7498
(平日 9:30～13:00/14:00～16:30)
(土曜 9:30～12:50)

出席停止期間について

ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎は「学校保健安全法施行規則」で第三種の「その他の感染症」に分類されており、「病状により学校医その他の医師において感染の恐れが無いと認めるまで」と定められています。

<参考文献>

- 国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-a.html>
- 厚生労働省 ノロウイルスに関するQ&A
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>